

## 近況報告

平成2年3月卒業の傍嶋健（そばしまけん）と申します。鈴木（元）指導教官からの依頼により、建設省建設大学校卒業生として、稚拙ながら近況を簡単に報告させていただきます。

（傍島君は、私が指導教官の時に入隊した隊員です。傍島君とフェイスブックで繋がっており、インドより帰国されたと聞き、近況報告のお願いをしました。快く受諾していただきました。産業開発青年隊同窓会長 鈴木浩明 筆）

建大在学中は、第二隊長（二号寮長兼務）を務め、部活は空手部に所属しておりました。その際に、凜とした厳しさを持ち合わせつつも、温かく我々学生をご指導頂いたのが鈴木（元）指導教官です。今でも同期と会えば、懐かしくも必ず話題に上がる我々の恩師でもあります。

なお、蛇足ながら、4年生の海外課程ではマレーシアで3カ月間の地形測量の実習を経験し、その時に知り合った女性が現在の妻でもあります。

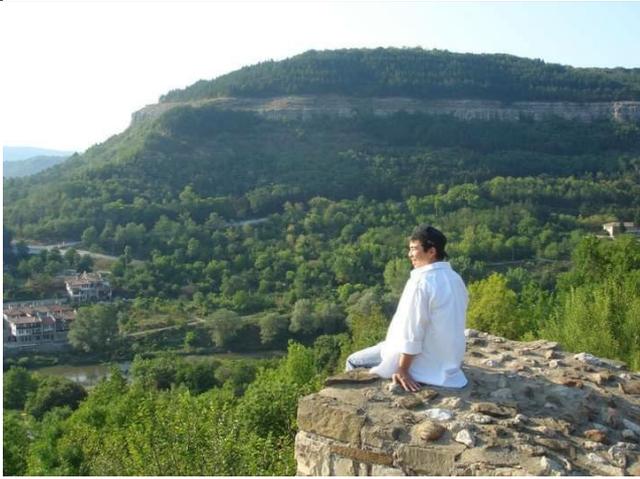
卒業後は学卒直行で、青年海外協力隊に参加（マラウィ・農業土木）し、帰国後、商社に入社、東京本社5年、マレーシア駐在5年を経て、他社との合併を機に、それ以降は、国際協力機構（JICA）で業務委託契約を頂く仕事に従事しております。具体的にはJICA関係者の安全対策、協力隊事業の運営が主業務です。

2002年から現在の業務に従事し始め、20年が経過致しました。その間、任国はガーナ、ルーマニア、タンザニア、モンゴル、ヨルダン、インドと渡り歩き、今年4月末日にインドでの3年間の任期を終了します。業務の詳細、特に安全対策面では、公表できない事も多いのですが、日々波乱に満ちた業務内容で、大変なことも多い反面、とてもやりがいのある仕事です。ちなみに今年11月からはセントルシアでの仕事を拝受しております。

このような根無し草稼業の小生にも、建大時代に苦楽を共にし、泣き笑いした、かけがえのない同期の友が居ます。

国内のゼネコンで日本の基盤を底支えしている実直な友もおれば、地域を支える地元の土建屋の社長として活躍している頑強な友もおります。また、全くの別業種で起業し大きく飛躍している活動的な友もおれば、海外で起業し、日本の先兵として大きく飛躍している親友もおります。残念ながら在学中に2名の同期を不慮の事故で失ってしまいましたが、彼らも、先に散ったとはいえ、今でも掛け替えのない同期の桜です。

皆、多忙故に、今後、同期一同が全員集合できる機会はまずないでしょう。しかし数年に一度程度であっても再会し、肩を叩きあい、同じ昔話を繰り返しながらも、お互いの頑張っている姿に触発され、元気付けあう事が出来る。そんな同期を今でも誇りに思い、これからも最後の日まで、決して忘れる事はないと確信しています。同期。言い方を変えれば、建大で同じ時間を共有した戦友だと思っています。こんなにも大切な友人と経験、そして思い出をくれた建設省建設大学校（産業開発青年隊）の卒業生である事を強く誇りに思っています。



ルーマニア駐在時代（ブルガリア旅行時）



モンゴル駐在時代



ヨルダン駐在時代（安全対策講習会にて講師）



インド駐在時代



モンゴル駐在時代



タンザニア駐在時代（大学卒業時の参列）



タンザニア駐在時（大学卒業時の参列）



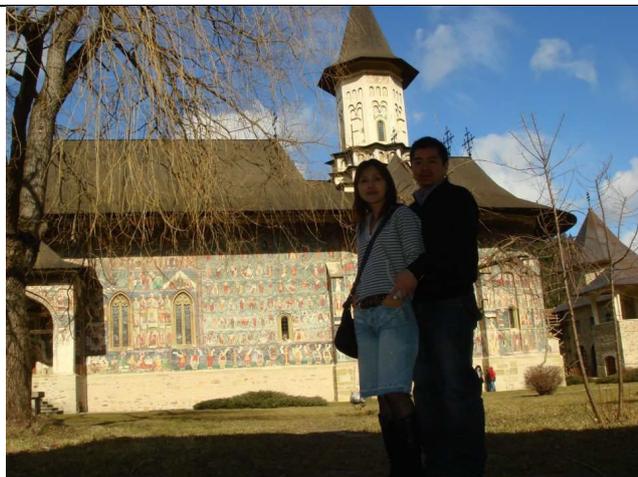
モンゴル駐在時代、娘と郊外でピクニック



モンゴル駐在時代



タンザニア駐在時代（妻とケニア旅行中）



ルーマニア駐在時代



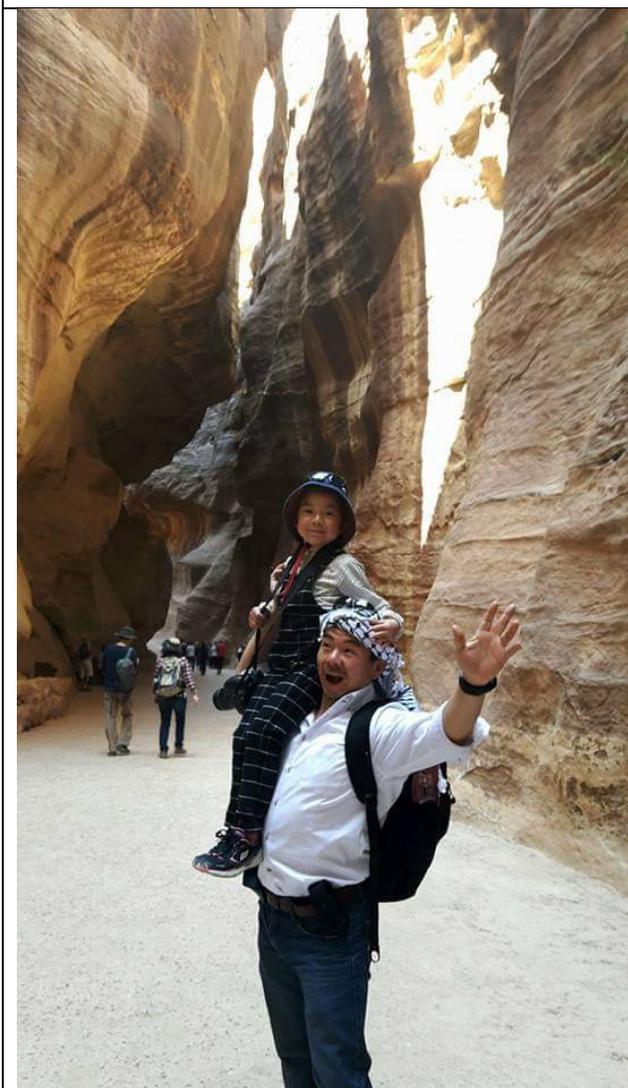
ヨルダン駐在時代（安全対策講習会・司会）



モンゴル駐在時代



モンゴル駐在時代



ヨルダン駐在時代、ペトラ遺跡にて。



ヨルダン駐在時代 (UN 主催セミナー・対テロ)



インド駐在時代（タージマハール）



ヨルダン駐在時代（自宅屋上から）



ルーマニア駐在時代、妻とハンガリー旅行中



タンザニア駐在時代、ケニア・サファリ中